ＪＢＡ「第３７回吹奏楽指導者認定試験」問題

（実施日：令和７年１２月２９日）

第３７回「吹奏楽指導者認定試験」の問題は以下のとおりです。

（１）理論筆記試験

・１級：(別掲)

・２級：(別掲)

・３級：(別掲)

（２）編曲作品試験

次の課題曲について、参考編成表のとおりに編曲し、スコアを提出する。(但し打楽器は自由。)

・１級：次の２曲から１曲を選び、吹奏楽に編曲してください。

《Jesu, meiner Seelen Wonne》(J.S.Bach)

ト長調（長２度下）で編曲してください。常に tutti にするのではなく、和声、歌詞などといった点で、音楽の脈絡を考慮した編曲をしてください。テンポ、ダイナミクス、アーティキュレーションは、自身で設定してください。

《An die Musik》(F. Schubert)

独唱部分も含めてください。１番のみとします。(繰り返して２番も編曲してもかまいませんが、その際は、反復記号は用いず、オーケストレーションの工夫をしてください。）なお、装飾音符を実際の演奏に即して書き改めてありますので、一部、Schubert の原曲譜とは異なる箇所があります。

・２級：次の２曲から１曲を選び、吹奏楽に編曲してください。

《Komm, Gott Schöpfer, heiliger Geist》(J.S.Bach)

テンポ、ダイナミクス、アーティキュレーションは、自身で設定してください。

《Wiegenlied》(F. Schubert)

独唱部分も含めてください。１番のみとします。(２番、３番を加えて編曲してもかまいません。その際は、反復記号は用いず、オーケストレーションの工夫をしてください。)

・編曲作品は、令和８年１月１５日（木）必着で郵送にてＪＢＡ事務局宛に提出のこと。

・編曲作品作成（スコア作成）に際して、コンピューター等で使用する楽譜作成ソフトを使用してもよい。

・楽譜作成ソフトを使用した場合は、楽譜をプリントアウトして、ＪＢＡ事務局に郵送すること。

（３）合奏実技試験

・１級：(初見曲) Ｊ.Ｓ.バッハ作曲／アルフレッド・リード編曲「Forget Me Not, O Dearest Lord」の全曲の合奏指導を１５分間行いなさい。その時、パート譜の間違いが８ヶ所有りますので、少なくとも６ヶ所を指摘・修正しなさい。

・２級：(初見曲) Ｊ.Ｓ.バッハ作曲／アルフレッド・リード編曲　「Forget Me Not, O Dearest Lord」の全曲の合奏指導を１０分間行いなさい。その時、パート譜の間違いが８ヶ所有りますので、少なくとも２ヶ所を指摘・修正しなさい。

※１級・２級共通：初見曲の楽譜にメモをすることは可能で、試験場に携行して試験に使用してください。(終了後は返却してください。)※モデルバンド：明浄学院高等学校吹奏楽部

（４）指揮実技試験

以下の課題曲の当日指定する部分をモデルバンド（明浄学院高等学校吹奏楽部）で指揮する。

（３級はピアノ伴奏）　　※各級ともスコアは各自で用意すること。

・１級：Ralph Vaughan Williams 作曲「イギリス民謡組曲」(BOOSEY&HAWKES 版)

・２級：Ralph Vaughan Williams 作曲「イギリス民謡組曲」(BOOSEY&HAWKES 版)

・３級：齋藤秀雄著『指揮法教程』(音楽之友社) 練習題　№１、№２の内１曲

・１級：(課題曲) Ralph Vaughan Williams 作曲「イギリス民謡組曲」(BOOSEY&HAWKES 版)の「第１楽章」：冒頭からリピート無しで、９８小節目まで及び「第２楽章」：冒頭から４２小節目までを演奏指揮しなさい。

・２級：(課題曲) Ralph Vaughan Williams 作曲「イギリス民謡組曲」(BOOSEY&HAWKES 版) の「第１楽章」: 冒頭からリピート無しで、９８小節目まで及び「第２楽章」: 冒頭から４２小節目までを演奏指揮しなさい。

※１級・２級共通：楽譜は各自準備してください。※モデルバンド：合奏実技試験に同じ。

・３級：斎藤秀雄著「指揮法教程」の「練習題 No２」を演奏指揮しなさい。

※楽譜は各自準備してください。※ピアノ伴奏を指揮する。

（５）小論文試験

・１級：公立中学校の部活動改革に関するスポーツ庁と文化庁の有識者会議は、昨年末の中間報告において、今後平日の部活動を地域に広げる方向性を示しました。各市町では地域展開に実施にむけ、様々な取り組みが行われているところです。子どもたちの持続可能な活動を実現する体制を考えることが重要です。居住されている市町村（自治体）での取り組み、実践事業などを参考に、指導者としてビジョンを明確に示し、休日と平日の展開の課題を見据え、理想とする地域展開、それに基づく運営法、吹奏楽指導法を論じなさい。字数は、４０００字（４００字詰原稿用紙換算１０枚程度とする。横文字数４０文字で作成、最後に４０文字×行数・総文字数を明示すること）

・２級：公立中学校の部活動改革に関するスポーツ庁と文化庁の有識者会議は、昨年末の中間報告において、今後平日の部活動を地域に広げる方向性を示しました。各市町では地域展開に実施にむけ、様々な取り組みが行われているところです。子どもたちの持続可能な活動を実現する体制を考えることが重要です。居住されている市町村（自治体）での取り組み、実践事業などを参考に、指導者としてビジョンを明確に示し、理想とする地域展開、それに基づく運営法、吹奏楽指導法を論じなさい。字数は、２４００字（４００字詰原稿用紙換算６枚程度とする。横文字数４０文字で作成、最後に４０文字×行数・総文字数を明示すること）

・３級：公立中学校の部活動改革に関するスポーツ庁と文化庁の有識者会議は、昨年末の中間報告において、今後平日の部活動を地域に広げる方向性を示しました。各市町村（自治体）では地域展開に実施にむけ、様々な取り組みが行われているところです。子どもたちの持続可能な活動を実現する体制を考えることが重要です。居住されている市町村（自治体）での取り組み、実践事業などを参考に、指導者としてビジョンを明確に示し、理想とする地域展開、それに基づく運営法、吹奏楽指導法を論じなさい。字数は、１６００字（４００字詰原稿用紙換算４枚）程度とする。

・論文は、令和８年１月１５日（木）必着で郵送にてＪＢＡ事務局宛に提出のこと。

・様式は自由とする。ただし、必ず用紙を用いて作成（ＰＣ等を使用した場合は必ずプリントアウト）したものを提出すること。

・小論文作成に際して、Chat GPT 等の生成系ＡＩの使用は認めない。

・小論文作成に際して、出版物（書籍等）やウェブページ等の文章（書籍・論文・ウェブページ）を、出典（著作者名）などを示さずそのまま用いたり、他人が作成した文章を自分の文章であるかのようにみせかける（代筆）といった剽窃（盗用）行為は禁止する。

[剽窃行為とみなされうる事例]

・出版物（書籍、雑誌、新聞等）やウェブページの文章や資料を、出典を示さずにそのまま用いる、あるいは語句を若干変更しただけで、あたかも自分で作成したような小論文を作成すること。

・小論文中で、文章や資料を引用した際に、引用した箇所を「　　」などで具体的に明示せずに使用すること。なお、「○○参照」というように曖昧にしか触れないものは「明示した」とはみなされない。

・他人が作成した文章を、そのまま、あるいは語句を若干変更しただけで、あたかも自分が作成したかのようにみせかけて、小論文を作成すること。

・生成系ＡＩが作成した文章を、そのまま、あるいは語句を若干変更しただけで、あたかも自分が作成したかのようにみせかけ、小論文を作成すること。なお、小論文作成に際して、生成系ＡＩの使用は認めない（上記参照）。